

Tamako Kataoka: The Tsurugamae Series and Other Paintings

片岡球子展

つらがまえ
面構シリーズを中心として



1

日本画家片岡球子(1905-2008)が亡くなって8年がたちました。1989年、文化勲章を受章し、歴史的にも名を残した片岡球子の評価は、戦後の日本画を刷新し、伝統を踏まえながらも、さらに現代的な日本画を作り上げたことにあります。1966年から着手した〈面構〉(つらがまえ)シリーズは、独自の解釈で武将や絵師といった歴史的人物像を描きだした代表作です。

神奈川県立近代美術館と片岡球子との縁はとて深いものがあり、1979年に初の回顧展、2005年には100歳を記念する大規模な回顧展を開催しました。本展では所蔵作品から選りすぐりの約20点を展示いたします。

大高正人の設計により1984年に完成した鎌倉別館は、リニューアル・オープンを目指し準備を進めております。再評価の高まる大高建築の重厚で落ち着いた空間で、片岡球子の芸術をあらためて存分にご鑑賞ください。

2016年7月30日(土) — 9月25日(日)
神奈川県立近代美術館 鎌倉別館

〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-8-1
tel. 0467-22-5000

休館日：月曜日(9月19日は開館)

開館時間：午前9時30分—午後5時(入館は午後4時30分まで)

観覧料：一般600(500)円、20歳未満・学生450(350)円、65歳以上300円、高校生100円

※()内は20名以上の団体料金です。

※中学生以下と障害者手帳等をお持ちの方(および介助者原則1名)は無料です。

その他の割引につきましてはお問い合わせください。

※ファミリー・コミュニケーションの日：毎月第1日曜日(今回は8月7日、9月4日)は、18歳未満のお子様連れのご家族は、割引料金(65歳以上の方を除く)でご観覧いただけます。

主催：神奈川県立近代美術館

お問合せ先：神奈川県立近代美術館 鎌倉別館 〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-8-1

tel.0467-22-5000 / fax.0467-23-2464 / メール：info.kinbi.474@pref.kanagawa.jp

美術館ウェブサイト <http://www.moma.pref.kanagawa.jp> 公式ツイッターアカウント @KanagawaMoMA

広報担当：松尾、三本松 展覧会担当：橋、西澤



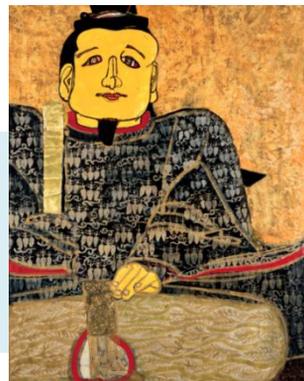
ライフワークとして取り組むテーマを探していた片岡球子は、京都の等持院で足利一族の木像に出会い、度量の深い人間の“面”に惹かれ描きはじめます。1966(昭和41)年の院展に《面構 足利尊氏》、《面構 足利義満》、《面構 足利義政》を出品して以来およそ40年にわたり、戦国武将、高僧、浮世絵師、戯作者などの相貌をあらわした〈面構〉シリーズの大作を描き続けました。



「〈面構〉のテーマに、わたしが取り上げる人物像は、すべてわたしの好きな人です。現代にも生かしていたかった人、尊敬する人、憧れの人なのです。わたしに、生きていく上において、ひとつの指針を与えてくれる人たちなのです。」

『面構』に挑む、生きざまを見る』『日本美術』(No.135 1976年12月)より

2



3



4



5

片岡球子略年譜

- 明治38年 北海道札幌市に生まれる。
大正12年 女子美術専門学校(現・女子美術大学)日本画科高等科に入学。
大正15年・昭和元年 横浜市大岡尋常高等小学校(現・横浜市立大岡小学校)の教諭となる。以後30年間教鞭をとりながら創作制作を続けた。
昭和5年 第17回院展に初入選。
昭和27年 第37回院展で大観賞を受け、院展同人となる。
昭和30年 女子美術大学で教鞭をとる。
昭和40年 第8回日本国際美術展に《火山(浅間山)》を招待出品し、神奈川県立近代美術館賞を受ける。
昭和41年 女子美術大学客員教授となる。愛知県立芸術大学絵画専攻日本画科の主任教授となる。〈面構〉シリーズに着手。
昭和45年 藤沢市辻堂東海岸に転居。終生この地で制作を続ける。
昭和52年 神奈川県立近代美術館運営委員会委員となる。
昭和53年 神奈川文化賞を受ける。
昭和54年 初の回顧展「片岡球子展－人間心理の鮮烈な描写－」を鎌倉館で開催。
昭和64年・平成元年 文化勲章を受ける。
平成17年 「現代日本画の巨匠 片岡球子展－100歳を記念して」を葉山館で開催。
平成20年 103歳で逝去。

図版キャプション

- 1.《面構 狂言作者河竹黙阿弥・浮世絵師三代豊国》1983年 紙本着彩 四曲一隻屏風
 - 2.《面構 葛飾北斎》1971年 紙本着彩 二曲一隻屏風
 - 3.《面構 足利尊氏》1966年 紙本着彩 額装
 - 4.《面構 国貞改め三代豊国》1976年 紙本着彩 四曲一隻屏風
 - 5.《海(鳴門)》1962年 麻布着彩 額装
- すべて神奈川県立近代美術館蔵

■「わくわくゆったりマップ」プレゼント！

夏休み期間中にご来館の18歳以下の方に、葉山館の彫刻作品がシールとマップになった「わくわくゆったりマップ」を差し上げます。(マップがなくなり次第終了)

配布期間：鎌倉別館 7月30日(土)－8月31日(水)[休館日をのぞく]
葉山館 7月17日(日)－8月31日(水)[休館日をのぞく]
※7月17日(日)－7月22日(金)は休館していますが、葉山館ミュージアムショップでお配りします。

■「ミュージアムめぐりスタンプラリー」開催中！

鎌倉市鍋木清方記念美術館、鎌倉市川喜多映画記念館、鎌倉国宝館と当館のうち3つ以上のスタンプを集めると、その場で素敵な景品を差し上げます。

*詳細は美術館ウェブサイトをご覧ください。

関連企画

■学芸員によるギャラリートーク

担当学芸員が作品についてお話します。

7月30日(土)、9月11日(日) 各日午後2時より
申込不要、無料(ただし本展の当日観覧券が必要)

■わくわく彫刻探検

「わくわくゆったりマップ」を持って、学芸員と一緒に彫刻のある庭をめぐる。

8月13日(土)、14日(日) 各日午前11時－12時
対象：どなたでも(小学生以下は保護者同伴)
申込不要、無料

■ミュージアム・トラバース

「片岡球子展」をみて、さらに鎌倉別館周辺の文化施設や鎌倉の自然を学芸員と一緒にめぐり歩きます。

日時：8月11日(木・祝) 午後1時－5時
対象：どなたでも(小学生以下は保護者同伴)
定員：10名(申込先着順)

要申込、無料(ただし本展の当日観覧券が必要)
申込方法は、鎌倉別館FAX：0467-23-2464 または、美術館ウェブサイトの「近代美術館への問合せ」フォームでお申込ください。